

# まだ、終われない！

誇れる未来を、退職後も。

仕事や学業を続けながら社会に貢献

予備自衛官等制度は、平素は社会人として企業などに勤務しつつ、年間に定められた日数の訓練に参加し、多様な事態に際しては招集されて自衛官となり、国防や災害派遣等の任務に就く制度です。私達の大切な国を守るため、あるいは地域社会への貢献等のため、是非ご理解とご協力をいただきますようお願い致します。

即応予備自衛官  
予備自衛官  
募集

## 1 即応予備自衛官とは



即応予備自衛官は、多様な事態に際し、第一線部隊の一員として、現職自衛官とともにあらかじめ指定された部隊において任務に就きます。平素は、年間30日間の訓練に招集されます。

招集訓練の日程については、主として土、日を含む日程で複数回設定して提示しますので、雇用企業等における勤務状況を考慮し、本人との調整により決定することが可能です。

普段は...



民間人としてそれぞれの職業に従事し、企業などの一員として勤務しつつ、年間30日間の訓練に参加します。

いざという時は...



速やかに出頭し、自衛官としてわが国の防衛等に貢献します。また災害救援等で地域社会に貢献します。

## 2 即応予備自衛官の処遇

手当総額 約50万～60万円/年

1任期(3年間)で総額約160万円が支給されます。※陸士の場合

即応予備自衛官手当

月額: 16,000円

2・5・8・11月の3ヶ月毎に支給。ただし正当な理由のない訓練不出頭の場合、手当の支給は停止されます。

勤続報奨金

1任期: 120,000円

1任期を良好な成績で勤務すると、勤続報奨金として120,000円が支給されます。

訓練招集手当

階級	日当	階級	日当
2等陸尉	14,200円	2等陸曹	12,600円
3等陸尉	13,700円	3等陸曹	11,300円
准陸尉、陸曹長及び1等陸曹	13,200円	陸士長及び1等陸士	10,400円

※手当は課税対象になります。

## 3 即応予備自衛官の応募資格等

対象者	自衛官としての勤務期間が1年以上の者(自衛官候補生の期間を含む)で、退職後1年未満の元陸上自衛官又は陸上自衛隊の予備自衛官で採用されている者。かつ、それぞれの階級に応ずる年齢未満の者。 ※予備自衛官補(一般)から予備自衛官に任用された者で、所定の教育訓練により基本特技を習得した者を含む。
階級	2尉 3尉 准尉 曹長 1曹 2曹 3曹 士長 1士
年齢*	52歳未満 51歳未満 50歳未満
採用	●本人の志願に基づき、選考により採用します。 ●採用時に階級、職種、特技及び自衛官となって勤務する部隊が指定されます。 ●採用者には、採用決定次第、本人に採用通知(辞令書の交付)をします。
身分	非常勤の自衛官(非常勤の特別職国家公務員)です。
任用期間	1任期:3年(継続任期も可能です。) 上限年齢:最終継続任用は、採用時の年齢に準じます。

※常備自衛官の定年年齢が引き上げられた場合変更されます。

## 1 予備自衛官とは



予備自衛官は、多様な事態に際し、主として駐屯地の警備及び後方支援などの任務等に就きます。

平素は、年間5日間を基準として訓練に招集されます。

招集訓練の日程については、主として土、日を含む日程で複数回設定して提示しますので、雇用企業等における勤務状況を考慮し、本人との調整により決定することが可能です。

普段は...



民間人としてそれぞれの職業に従事し、企業などの一員として勤務しつつ、年間5日間の訓練に参加します。

いざという時は...



自衛官としてわが国の防衛等に貢献します。また災害招集等で地域社会に貢献します。

## 2 予備自衛官の処遇

手当総額 88,500円/年

1年目は1日間の訓練で約5万円が支給されます！

予備自衛官手当

月額: 4,000円

2・5・8・11月の3ヶ月毎に支給。ただし正当な理由のない訓練不出頭の場合、手当の支給は停止されます。

訓練招集手当

日額: 8,100円

5日間訓練に出頭すると40,500円支給されます。

※手当は課税対象になります。

※公募予備自衛官から即応予備自衛官任用への基本特技取得のための訓練招集手当は日額: 8,300円

## 3 予備自衛官の応募資格等

対象者	●自衛官として1年以上勤務した者(自衛官候補生の期間を含む)で、採用時にそれぞれの階級に応ずる年齢未満の者。(海上自衛官、航空自衛官からでも陸上予備自衛官へ志願可能) ●職種により一部の自衛官は、採用年齢が異なります。(音楽科、警務科等)
階級	1佐 2佐 3佐 1尉 2尉 3尉 准尉 曹長 1曹 2曹 3曹 士長 1士 2士
年齢*	59歳未満 58歳未満 57歳未満 56歳未満 55歳未満
採用	●本人の志願に基づき、選考により採用します。 ●採用時に階級、職種、特技及び訓練招集部隊が指定されます。 ●採用者には、採用決定次第、本人に採用通知(辞令書の交付)をします。
身分	非常勤の自衛官(非常勤の特別職国家公務員)です。
任用期間	1任期:3年(継続任期も可能です。) 上限年齢:最終継続任用は62歳未満

※常備自衛官の定年年齢が引き上げられた場合変更されます。

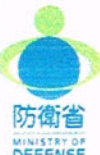
防衛省・自衛隊では、即応予備自衛官・予備自衛官・予備自衛官補を募集しています。



スマートフォンで  
いますぐアクセス



予備自衛官  
即応予備自衛官  
予備自衛官補







# 予備自衛官補（一般）の 採用時の年齢要件を緩和しました

## 【旧】年齢要件

18歳以上  
34歳未満



## 【新】年齢要件

18歳以上  
52歳未満



## 令和6年度の採用試験から

予備自衛官補制度は、主として自衛官未経験者を採用し、所定の教育訓練を経た後、予備自衛官として任用する制度です。

## 「防衛力」における位置づけ

### 常備自衛官 (約247,000人)

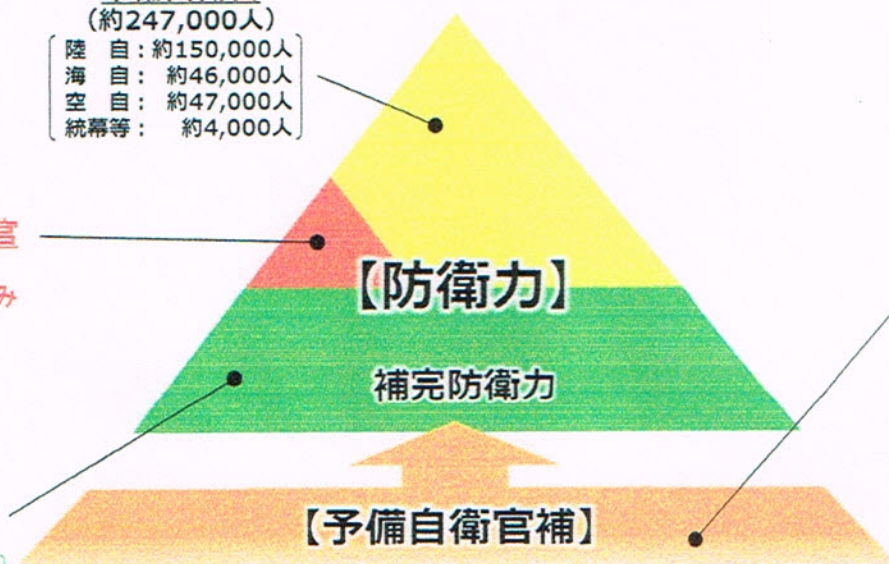
陸自：約150,000人  
海自：約46,000人  
空自：約47,000人  
統幕等：約4,000人



即応予備自衛官  
(7,981人)  
※陸上自衛隊のみ



予備自衛官  
(47,900人)  
陸自：46,000人  
海自：1,100人  
空自：800人



## 予備自衛官補

(4,621人)  
陸自：4,600人  
海自：21人

↓ 募集HP ↓



防衛省・自衛隊  
MINISTRY OF DEFENSE

お問い合わせはお近くの自衛隊地方協力本部（裏面）にご連絡ください